

# 山 旅

会報 No.222  
好山好山旅会



ヒオウギアヤメ

## 平成24年9月例会山行計画

第一例会	9月 2日(日)	
道志山塊	今倉山・二十六夜山 <b>変更</b>	担当者 原田
第二例会	9月 8日(土)	
富士の山	双子山	担当者 池田
第三例会	9月16日(日)	
上州の山	武尊山 <b>変更</b>	担当者 白井
	9月30日(日)	
	役員会	池袋勤労福祉会館

## 平成24年7月の例会報告

### 〔八ヶ岳(観音平～赤岳～清里)〕

参加者 清水(L) 白井 池田 木村 豊島(体験山行)

7月14日(土曜) 曇り

清水 記

7月の3連休の初日、観音平は、すでに多くの車が停まっていて、入山した人は、かなりの多人数のようだ。身支度を整え出発。押手川で、青年小屋にダイレクトに出る、編笠岳に登らないコースを選んで、ゴロゴロとした石の多い道を歩いて行く。テントを担いだ若者チームにいっぱい抜かされる。ほとんどが、キレット小屋にテント泊で、行くと言う。

少し道が整ってくると、青年小屋に出た。少し前は青く塗られて綺麗に見えた小屋だったが、トタンに錆びがこびりつくようになってきていて、提灯が飾ってあって、読むと、「遠い飲み屋」と書いてあった。ノンベさんの常連が多い小屋になったのかもしれない。ここで、昼食を取り、権現岳に向かう。

少し登ると編笠山が良く見えて、こんもりとして可愛い姿をしていた。お花の多い岩場のコースだが、霧が出てきて、権現小屋の上は前方が良く見えず、頂上は何処なのと尋ねられるほどであった。権現の狭い頂上を後にして、キレットに足をすすめる。

急な岩尾根になり、そこが見えない長い梯子を慎重に下って行く。やがて、少し道が穏やかになり、コマクサが咲く砂地の場所に出た。ここで天然もののコマクサを写真に納め、かなり急な下りをどんどん下って行くと、やがて今日の宿キレット小屋が見えて来た。

キレット小屋のお庭には、コマクサがいっぱい植えてある。コマクサは丁度今が最盛期。白いコマクサもいっぱいあって、可愛かった。夕方青空が広がり、明日の赤岳登頂は晴天になるのではないかと思いつつ、早めに床に着いた。

7月15日(日) 霧時々小雨

白井 記

前日の夕方は小屋から赤岳天狗尾根の岩峰群がはっきりと見え、星も出ていたので好天を期待していたが、一面ガス。小屋を出て10分も歩くと森林限界を超え、ガレ場の急登が始まると谷から吹き上げる風が徐々に強くなって来た。フードを被り足元を見ながらひたすら登る。

岩の間にはあちこちに小さなお花畑が有り、ハクサンイチゲ、チシマギキョウ、タカネシオガマ、イワウメそれにこの様な群落は始めて見たチョウノスケソウが、強風に吹かれながらしっかりと花を咲かせていた。風は全く弱まる様子は無く、文三郎尾根からの合流点では西から吹き付ける風が息苦しいほどの強さだった。周囲がガスで見えないので、恐怖心は全くなかったが、晴れていて強風だったら結構ビビっていたかも知れない。

鎖と梯子を伝わりながらようやくの思いで、赤岳の頂上に着いた。一面のガスと20m前後と思われる強風にもかかわらず頂上は大勢の登山者があふれていたが、登頂の証拠写真を撮り終えると皆そそくさと風の当たらない岩陰に下りて行った。

真教寺尾根を下り始めると、赤岳の東側という事もあり風はそれほど強く無かったが、相変わらずガスで見通しの利かない鎖が続く道を滑らないように慎重に下って行った。霧雨で岩は濡れていたが、表面がざらざらして滑り難いので助かった。

真教寺尾根は昔(終戦後の登山ブームの時代)、赤岳に登るメインルートで県界尾根を下るのが

ポピュラーだったそうだ。悪天にもかかわらず、下から登って来る人達に結構出合った。美し森の駐車場と途中までリフトが有るので、日帰りで赤岳を目指す人が多いのだろう。

扇山を経て牛首山を登り返す頃には、岩場と鎖場の連続の緊張感が解けた疲れが出て来て結構つらく、牛首山からの急な下りでは、ぬかるみで足を滑らす事が増えて来た。

ようやく賽の河原にたどり着き、リフトが見えるとソフトクリームを食べながら下る誘惑に駆られたが、リーダーの一言でしっかりと下まで山道を下る事になった。美し森駐車場より少し手前のたかね荘までタクシーを呼び、途中「延命の湯」で汗を流して帰途についた。

#### コースタイム

14日 観音平 9:34 雲海展望台 10:33 押手川 11:25 青年小屋 13:00~13:27  
権現岳 15:10 キレット小屋 16:58

15日 キレット小屋 5:21 赤岳 7:40 扇山 10:44~11:07 牛首山 11:24  
賽の河原 12:33 羽衣池 13:24 たかね荘 13:45

費用 電車代(あずさ特急券を含む 新宿~小淵沢) 5040円×2  
タクシー代 (小淵沢~観音平) 3140円  
(清里~延命の湯) 6920円  
(延命の湯~小淵沢) 1700円  
山小屋宿泊代(2食付) 7800円

### 《 白笹山~南月山~茶臼岳 》

7月21日(土)霧のち晴れ

参加者：池田(L) 梅沢 土方 木村 板橋

計5名

池田 記

山行当日の朝宇都宮線に乗り込むも空模様が怪しい。窓に時折雨の水滴が当たるが天気予報を信じる他ない。那須塩原駅で全員集合し土方さんの車で沼原湿原に向かう。

沼原駐車場は霧に包まれ車は数台しかなく静寂そのもの。歩き始めて直ぐ身の丈程の笹が覆い用心の為、熊よけの鈴を鳴らしながら歩く。ダテカンバが霧の中で林立する姿が幻想的で、登るにつれ徐々に霧は晴れ周囲の山々が姿を現し始め大倉山への稜線が眺められるようになると白笹山に到着するが、山頂からの展望は得られない。

コメツガの大木、シャクナゲ、シロヤシオなどの樹林帯を過ぎハイマツと笹の中を登りきると南月山に到着する。祠があり太陽が燦々と照りつけ予想以上の天気恵まれた事に感謝し白く噴煙を上げる茶臼岳の雄姿を眺めながら昼食を取る。

この後牛ガ首で駐車場に戻る土方さんと別れ私達4人は、茶臼岳山頂に向かう。この辺りに来ると登山者に出会うようになり最後のきつい登りで鳥居をくぐり山頂に到着する。5、6人の先客がいたが静かな山頂で、白笹山、南月山の稜線や三本槍、朝日岳など周囲の山々の眺望を楽しみお鉢を回り峰ノ茶屋跡を経て山麓駅に下山しました。

ここで解散としましたが、全員那須湯本の鹿の湯で一浴し帰途に着きました。

コースタイム 那須塩原駅 9 : 0 0 - 沼原湿原駐車場 9 : 4 5 ~ 9 : 5 5 白笹山 1 1 : 3 0 - 南月山 1 2 : 2 5 ~ 1 2 : 5 0 日の出平 1 3 : 1 0 - 牛ガ首 1 3 : 3 0 - 茶臼岳山頂 1 4 : 2 5 ~ 1 4 : 4 0 峰ノ茶屋跡 1 5 : 1 0 - 山麓駅 1 5 : 4 5 着

費用 電車代・・・2520 円（上野～那須塩原）  
2940 円（黒磯～上野）  
バス代・・・800 円（山麓駅～那須湯本）  
820 円（那須湯本～黒磯駅）  
鹿の湯・・・400 円

### 会計係よりお知らせ

22 年度の会計報告で会員募集費用にもれがあったため訂正し、22 年度、23 年度会計報告書を改めて報告いたします。

平成22年度会計報告			
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)			
		会計担当 梅澤京子	会計監査 佐々木芳子
収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	482,999	スポーツ保険 44人分	70,400
		スポーツ保険手数料	479
(年会費)43名、家族会員1名	217,500	会報(山旅)、山行案内発行費用	26,830
(年会費)新入会員2名	3,320	リーダー手当	50,000
(入会金)1,000×2人	2,000	庶務、会報編集、会計、募集係各手当	27,000
(保険金)1,600×44人	70,400	「山の談話室」発行費用	0
新入会員保険金1,600×2人	3,200	会員募集費用(広告料等、前年がなかったなので2回分)	27,040
山行参加費	28,900	図書券(最多山行参加者3名)	10,000
利子	50	役員会用会議室賃貸料3回	5,320
小計	325,370	佐藤さんお悔やみ花代	10,095
		忘年会補助	18,448
計	808,369	小計	245,612
		次期繰越金	562,757
合計	808,369	合計	808,369
22年度収支差額 = 79,758			

平成23年度会計報告			
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)			
会計担当 梅澤京子		会計監査 佐々木芳子	
収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	562,757	スポーツ保険 44人分	70,400
		スポーツ保険手数料	1,064
(年会費)5000×38名	190,000	会報(山旅)発送庶務費用	41,790
(年会費)新入会員(長島、木村、濱田、寺嶋、小淵、)5名	19,090	郵便他	1,970
		リーダー手当	40,000
(保険金)1,600×43人	68,800	リーダー手当(未払い、八木、吉田)	11,000
(入会金)1,000×4人(小淵さん再入会のため除く)	4,000	庶務、会報編集、会計、募集係各手当	27,000
年会費及びスポーツ保険(濱田さん振込先違い)	6,600	図書券(最多山行参加者4名)	9,500
30周年お祝い金(本多、矢沢各1万、平野、国府田、各5千)	30,000	会員募集費用(広告料等)	13,530
利子	175	30周年会食費	151,200
		役員会用会議室賃貸料2回	4,900
小計	318,665	延命さんお悔やみ代	5,520
		忘年会、餅つき補助	4,330
		「山の談話室」発行費用	27,460
		大塚商会	23,725
		年会費及びスポーツ保険(濱田さん)損金処理	6,600
計	881,422	小計	439,989
		次期繰越金	441,433
合計	881,422	合計	881,422
23年度収支差額 = 121,324			

## お知らせ

### 1. 新入会員のお知らせ

つくばみらい市にお住まいの豊島 ゆみ子さんが入会されました。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、清水副会長のお姉さまです。よろしく願いいたします。

### 2. 7月第一例会(大菩薩峠)・第二例会(安達太良山)は山行中止となりました。

### 3. 7月第五例会(朝日岳)の山行報告は来月号に掲載いたします。

山旅 No.222 平成24年8月1日発行 発行者 大田雅巳 編集者 鈴木陽子

発行所 名古屋市南区駈上1-14-37-606 大田方 好山好山旅会

WebSite <http://www.kozanko.net/>